

平成18年度 決算報告書

国立大学法人 旭川医科大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	5,264	5,264	0	
施設整備費補助金	97	97	0	
補助金等収入	0	7	7	
国立大学財務・経営センター施設費交付金	33	33	0	
自己収入	12,950	13,654	704	
授業料及び入学金及び検定料収入	620	610	△ 10	(注1)
附属病院収入	12,213	12,916	703	(注2)
雑収入	117	128	11	(注3)
産学連携等研究収入及び寄附金収入	637	754	117	(注4)
目的積立金取崩	668	220	△ 448	(注5)
計	19,649	20,029	380	
支出				
業務費	16,707	16,923	216	(注6)
教育研究経費	3,578	3,345	△ 233	
診療経費	13,129	13,578	449	
一般管理費	995	995	0	
施設整備費	130	130	0	
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	637	629	△ 8	
長期借入金償還金	1,519	1,519	0	
計	19,988	20,196	208	
収入－支出	△ 339	△ 167	172	

○予算と決算の差異について

- (注1) 授業料及び入学金及び検定料収入については、休退学に伴う学生数の減と研究生数の減により、予算金額に比して決算金額が10百万円少額となっております。
- (注2) 附属病院収入については、平均在院日数の短縮、患者数や手術件数の増により、予算金額に比して決算金額が703百万円多額となっております。
- (注3) 雑収入については、主として駐車場使用料収入の増により、予算金額に比して決算金額が11百万円多額となっております。
- (注4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、予算段階では予定していなかった民間等からの受託研究や寄附金の獲得に努めたこと並びに競争的資金間接経費の受入れの増により、予算金額に比して決算金額が117百万円多額となっております。
- (注5) 目的積立金取崩については、予算段階では予定していた目的積立金を、取り崩さなかったことにより、決算金額が448百万円少額となっております。
- (注6) 業務費については、附属病院収入の増加に伴って診療経費が増加したことにより、予算金額に比して決算金額が216百万円多額となっております。

※本学においては、資本剰余金取崩による病院設備購入経費として、診療経費の予算額に339百万円、また、決算額に368百万円を計上しています。